

HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2025 Vol.118

- P1 **特集** 社会福祉事業所紹介
どんな子どもでも
一緒に育つことのできる地域づくりを
社会医療法人同愛会
博愛こども発達・在宅支援クリニック
- P5 チャレンジ福祉の仕事
社会医療法人同愛会
博愛こども発達・在宅支援クリニック
- P6 福祉職場で働く専門職の紹介
障がいのある子どもたちの変化に喜びを感じながら
「看護師」
- P7 福祉人材センター情報
福祉の職場で働きたい方と人材を求める
事業所との橋渡しをしています
- P8 ボランティア・市民活動センター情報
とっとりボランティアバンク登録団体紹介
「るりゆーる」
- P9 ボランティア・市民活動センター情報
見えない人、見えにくい人でも、
諦めることなくチャレンジできるように
「アーツ芯(コア)」盲ろう文化芸術ネットワーク
- P11 ことぶき高齢者情報
ねんりんピックはばだけ鳥取2024開催!
- P12 ことぶき高齢者情報
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

どんな子どもにも、生きる力と成長する機会を



博愛こども発達・在宅支援クリニックに通所する、重症心身障がい児や医療的ケア児たちの「朝の会」では、手話やオルガンでの歌で始まり、日中は成長発達を促すための生活訓練などを行います。

社会医療法人同愛会 博愛こども発達・在宅支援クリニック

米子市にある博愛こども発達・在宅支援クリニックは、総合病院である社会医療法人同愛会「博愛病院」を中心に、様々な医療と福祉の施設が集まる広大な敷地の一角にあります。クリニックは、医療的ケアが必要な子どもたちや重症心身障がい児、難病児、発達障がい児等の外来診療とともに在宅診療に取り組む数少ないクリニックです。また、小児の一般診療や病児保育としての役割も担い、さらには児童発達支援、放課後等デイサービスなどの福祉サービスを展開し、ピアサポートの機会づくりなど“家族の心の支援”とともに地域の学校、保育園、幼稚園、障がい福祉事業所などと連携しながら子どもたちが安心して楽しく過ごせるように支援しています。



昨年のクリスマスコンサートの様子。「マイトリーのわらべうたパーティー〜クリスマスバージョン〜」クリニックのデイサービスルームで、マイトリーひうたさんを招いて開かれました。

どんな子どもでも一緒に育つための地域づくりを



成長発達を促すための生活訓練などの日中活動では、書道のほか、粘土遊び、スライム、サーキット遊びなど、五感を刺激し発達を促します

育的な関わり、生活訓練などを行っています。

医療型短期入所では、重症心身障がい児や医療的ケア児を「時的に預かり、短期入所を通して本人の成長発達やライフステージに合った、より良い在宅ケアを家族と一緒に考えながら支援をしています。」

子どもの生命力に敬意を払うこと

医療型短期入所において、本人の成長過程やライフステージに合った在宅ケアへの取り組みについて、院長の玉崎章子さんは、「私たちは、成長とともに食べる量が変わったり、生活の仕方が変わったりします。同じように、医療的ケア児も成長や病状の変化、ライフステージによって、赤ちゃんのときなど乳幼児期と同じケアでは、本人の健康や生活、家族の生活が安定したものにならなくなり、心配なこと、困っていることも共有しながら、必要に応じて大学病院と連携してケアの変更を検討しなが

ら支援していただきます」と話します。

そして、医療的ケア児などが地域で暮らしていくために求められることについて、「病気や障がいがある子どもに、かわいそうな子ではなく、生まれたばかりの時に、小さな体で手術など様々な医療処置を受け、生き抜いてきた子ども



社会医療法人同愛会
博愛こども発達・在宅支援
クリニック

たまさきあきこ
玉崎 章子
院長

もたちであり、その生命力に敬意を払うことが大切です」と、その子たちの尊厳を守る精神的理解が地域の人々にあれば、ともに暮らしていけると話します。

また、そのような思いから、医療・福祉の提供で、「どんな子どもでも一緒に育つことのできる地域づくり」の一助としてSNSを活用して子どもたちの様子を発信しています。「クリニックには色々な子どもも

博愛こども発達・在宅支援クリニック（以下・クリニック）は、主体となる医療の提供のほかに、重症心身障がい児や医療的ケア児を対象に、障がい児が通所する「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」「医療型短期入所」の福祉サービスを行っています。

児童発達支援では、通園で日中預かり、成長発達を促すための生活訓練などを行います。放課後等デイサービスは、学校終了後および長期休暇中に預かり、地域との交流や療



昼食は、介助が必要な子や一人で食べられる子など、その子どもに合わせた支援が行われます

ちが様々な理由で来院します。クリニックという一つの空間でお互いにいるんな子がいるなとお互いの存在を知り、尊重し合える場であってほしいと思っています」と、玉崎院長は、やさしいまなざしで話します。

仲間力²で 家族の心の支援を

クリニックでは、一人で悩んだり孤立しがちな家族の心の支援にも力を注いでおり、難病や障がいのある子どもの保護者が集う機会として「保護者参観週間」や年1回の「保護者交流会」を開催しています。

それは「ピア（仲間）サポート」となり、専門家によるサポートとは

違い、仲間としてより良くサポートする仲間力²に基づいたもので、「同じ悩みがある人がつながる」ことで、悩みや孤独感を解消したり、互いに元気になる機会となっています。

それは「誰もが成長する力を持っている」「誰もが自分で解決していく力を持っている」「人は実際に人を支援する中で成長する」という考え方に基づき、誰もが他者をサポートでき、サポートを受ける存在であるという、共存の精神で支援し合うことを意味しています。

玉崎院長は「障がいがある子どもの子育ては、一般的な家庭と異なりますので、スタッフをはじめ園や学校などの関係機関や保護者を交えたカンファレンス（会議）で家庭での対処を検討しますが、インクルーシブ（包み込む）な対応が大切です」と話します。

それは、医療的ケアが特別なことではなく、また子どもたち一人ひとりが同じ人間であることを理解することを前提として、あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護して、社会の構成員として包み、支え合うことの大切さを意味しています。



地域とともに育つ 子どもたちへ

保育士リーダーの中原奈穂さんは、「クリニックに通う子どもたちは、成長過程が様々です。一人ひとりの子どもの成長にじっくりと関わる事ができるところが、ここでの仕事の魅力です。子どもたちの近くで成長の支援をしながら、できなかったことができたという喜びを一緒に味わえる瞬間にやりがいを感じています」と話します。

そして、クリニックの活動をフェイスブックとインスタグラムのSNSで発信していますが、それを見た方から「子どもたちのために使って欲しい」と、おもちゃなどを寄付してもらうことがあります。

また、「JR米子駅から声をかけていただき、『トワイライトエクスプレス瑞風』が米子駅に停車するときの歓迎用横断幕を子どもたちと協同



保育士リーダーの中原奈穂さん



制作し、それを見た方から子どもたちのために、毛糸を寄付していただいたこともあり」と中原さんは、SNSを通して色々つながりもでき、医療的ケア児や重症心身障がいのある子どもを知ってもらえることに喜びを感じています。

子どもの五感を刺激する療育の一環として

昨年のクリスマスには、「マイトリーのわらべうたパーティー」クリスマスパーティーのコンサートがクリニックのデイサービスルームで、マイトリーひうたさんを招いて開かれました。

参加した利用者の子どもたち9名と保護者、スタッフはマイトリーさんのミニギターによるわらべうたやクリスマスソングの演奏とともに、笑顔で一緒に歌ったり、手遊びをしたりと、楽しい時間を過ごしました。最後に楽器にふれる時間も、子どもたちの五感に訴えるパーティーとなりました。

このイベントも、障がいのある子ども達の発達を促し、自立して生活できるように援助する「療育（発達支援）」の一環で、院長が話す「お互いにいろいろな子がいるな」と互いの存在を知り、尊重し合える機会」になつていくようです。



マイトリーさんのミニギターによる演奏会の後、子どもたち一人ひとりが楽器にふれる体験をしました

【概要】

- 所在地／鳥取県米子市南三柳1880
- 開設日／2019(平成31)年4月
- 運営主体／社会医療法人同愛会
- 職員数／職員数16名(正職員14名・嘱託職員2名)
内訳:医師2名、看護師5名(内、児童発達支援管理責任者1名)、理学療法士2名、作業療法士1名、公認心理士1名、保育士3名、事務員2名
- 定員／障がい児通所サービス事業10名(児童発達支援・放課後等デイ)、障がい福祉サービス事業 空床型(医療型短期入所)、地域子ども子育て支援委託事業9名(病児保育かも)
- 利用(受付)相談窓口／当該施設



Challenge チャレンジ福祉の仕事

社会医療法人同愛会
博愛こども発達・在宅支援クリニック

福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

子どもたちが成長していく姿に喜びが

社会医療法人同愛会 博愛こども発達在宅支援クリニック

理学療法士 榎山 耕平さん



「学生時代に障がい者スポーツを通して関わった当事者や家族の話を聞く中で、障がいのある子どもたちがその子らしく生活できるようなお手伝いができたらと思います。理学療法士（Physical Therapist（PT））を目指しました」と話す榎山耕平さんは、昨年まで総合病院と療育施設でPTとして兼務し、呼吸器疾患や発達に遅れのある子どもたちのリハビリを行っていました。そして、現在の職場で初めて福祉サービスマン職員として、子どもたちの全般的な育ちや生活を支援する中で、「日々色々な姿を見せてくれる子どもたちが、少しずつ発達し、成長していく姿に、とてもやりがいと喜びを感じています」と話します。

や生活動作、姿勢や椅子のフィッティングなど、身体に関する中心に子どもたちが遊びを通して発達できるように考えて支援をしています。医療的な側面では、PTとして発達を詳細に評価し、子どもの伸び代をしっかりと支援できるようにしています。また、人工呼吸器や骨折のリスクのある子どもが、安全に遊びに参加できるように配慮しています。そして、安全面や医療的な知見のみで支援するのではなく、その子どもがやりたいことなど主体的な気持ちを引き出せるように、他職種と支援についてしっかりとコミュニケーションをとることを大切にしています。PTは様々な分野で活躍できますが、特に小児分野では子どもたちの成長や発達を保護者と一緒に応援できます。「〇ちゃんすごいね」「僕こんなことできたんだよ」といった場面に出会えることがこの仕事に就いて良かったと感じると、榎山さんは微笑みます。



やりがいを感ぜられる瞬間がたくさんある

社会医療法人同愛会 博愛こども発達在宅支援クリニック

保育士 山崎 亜希さん



身体障がいのある兄妹がいる山崎亜希さんは、幼い頃から障がいのある子どもたちやその家族と会う機会が多くありました。そして「私が成長していくにつれて、障がいのある兄妹に様々な想いを持っていました。その想いが何かの役に立てば良いと思い、へきよつだい支援に力を注いでいるこのクリニックで働きたいと思いました」と振り返ります。

「福祉の職場は、責任も大変ですが、みんなの笑顔や成長する姿が近くで見られ、やり甲斐を感じられる瞬間がたくさんあります」と山崎さんは、子どもの頃に抱いていた想いを実現しているように話します。

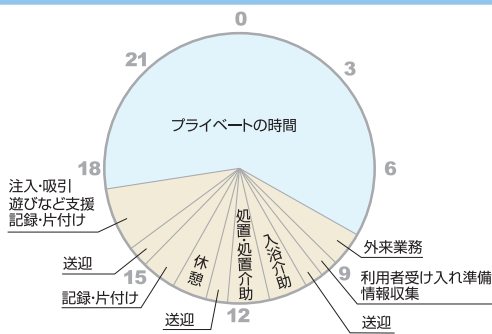
日々の活動は、受け入れから送り出し、活動、食事排泄の介助、寝かしつけ、日々の記録、活動準備、掃除など、一般の保育園と同じですが、看護師やセラピストと一緒に療育をしており、怪我などに充分気をつけなければならぬと思っています。

また、大切な子どもたちの生命を守ることを第一に、怪我なく安全にその日が楽しく過ごせ、色々な体験・経験ができたと思ってもらえるように努めています。そして、子どもや保護者と関わる時間を多く持つことや、



福祉職場で働く専門職の紹介「看護師」

障がいのある子どもたちの変化に喜びを感じながら



社会医療法人同愛会
「博愛こども発達・在宅支援クリニック」

せがわち はる
看護師 瀬川 千春

看護師は、病院や診療所など医療機関で働くイメージが強いですが、最近では、訪問看護ステーション、介護福祉関連施設、保育所など、活躍の場は多岐にわたります。その理由は、病気や障がいをもついても在宅地域で生活することを望む患者・家族が増えてきているためです。昨今、看護師には医療・保健・福祉の幅広い分野において、人々に寄り添い、健康と生命を守り、生活を支える専門職としての役割が求められています。



例えば、はじめは泣いてばかりだったり、拒んでばかりだった子どもが笑顔で遊べるようになる。また、表情や表現が乏しかった子どもの笑顔や泣き顔など、表情の変化が見られるようになったり、体で表現する姿が見られるようになるなど、できなかったことができるようになる瞬間を見ることができるとても

現在の仕事の内容を
具体的に教えてください

医療的ケア児・重症心身障がい児の医療的ケアの実施、医療機器の管理、状態観察、入浴介助、送迎、保育活動の補助、外来訪問診療の補助などを行っています。

仕事のやりがい、
魅力などを教えてください

現在の仕事のやりがい、魅力などを教えてください。例えば、はじめは泣いてばかりだったり、拒んでばかりだった子どもが笑顔で遊べるようになる。また、表情や表現が乏しかった子どもの笑顔や泣き顔など、表情の変化が見られるようになったり、体で表現する姿が見られるようになるなど、できなかったことができるようになる瞬間を見ることができるととても嬉しく感じます。それが、仕事のやりがいや魅力に繋がっていると思います。

「この仕事に就いて良かった」と思うのはどんな時ですか？

利用のきっかけの多くは玉崎院長の存在にありますが、普段から見てくれる看護師、保育士、セラピストがいるからもって利用したいイベントに参加したい！白帰りではなく宿泊にもチャレンジしたい！など、子どもと家族の生活が広がっていききっかけを私たちも作る事ができればいいなと思っています。

さらに、クリニックで色々な経験を積んだ後、クリニックの枠から離れて、〇〇ができたという話を聞くと、支援していて良かったと思いますし、この仕事をやっていて良かったと思います。

仕事をするうえで、
大切にしていることは、
どのようなことですか？

苦痛を伴う医療的ケアに関しては、できるだけ安楽に、少ない回数で済むよう、タイミングや手技に気をつけて実施しています。また医療機器の管理についても、本人に危険が伴わないよう注視しています。

休日は何をして
過ごしていますか？

野球、サッカー、バスケット、スポーツの現地観戦やテレビや動画で見るのが好きです。ほかにヨガや読書などを楽しんでいます。夫と2人暮らしですが、二人で旅行に行ったり、甥姪や友達と過ごしたり、近くに母と姉家族がいるので、休日に一緒に過ごすことがよくあります。



心地よく安全に過ごせることを大切にしています。そして活動や遊びの場では、へ快(かい)の刺激だけでなく、不快な刺激にも触れて感じて、色々な体験ができれば良いと考えています。

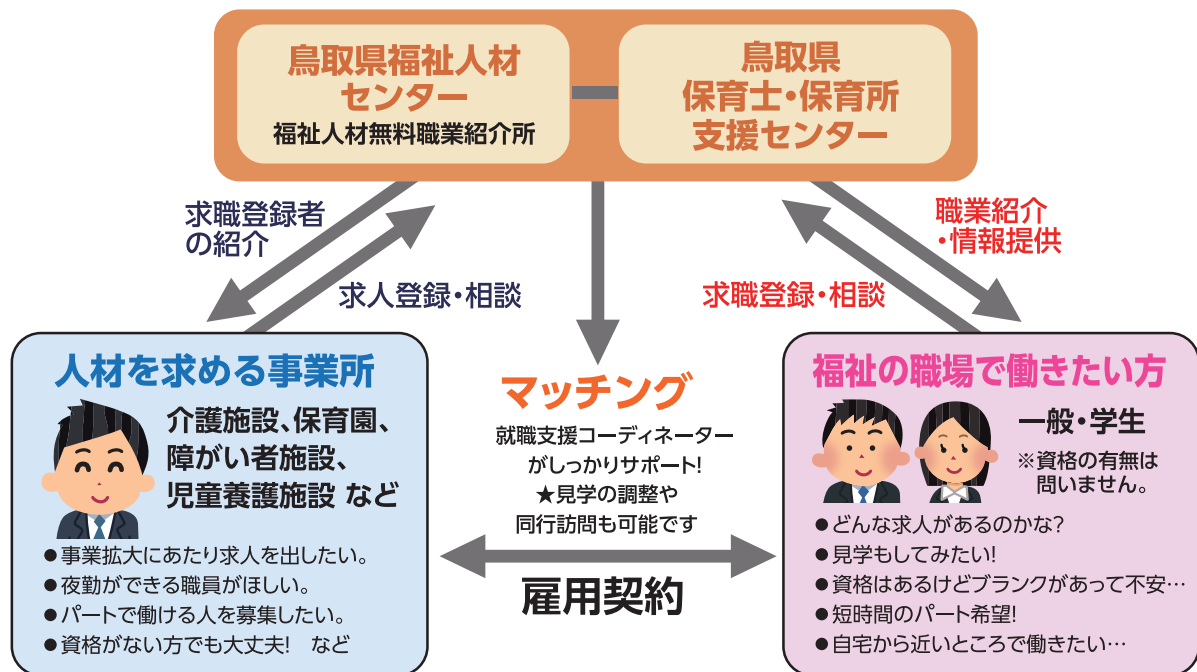
鳥取県福祉人材センターのご案内

福祉の職場で働きたい方と 人材を求める事業所との橋渡しをしています

鳥取県福祉人材センターは、職業安定法に基づく無料職業紹介事業(厚生労働大臣許可)をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-ム-010001】

■無料職業紹介事業

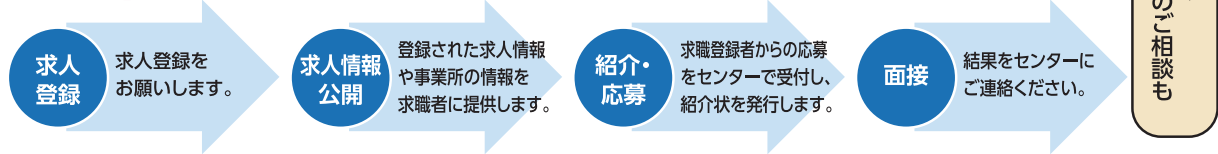
福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行います。また、人材を求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。



福祉の職場で働きたい方への職業紹介の流れ



人材を求める事業所への就業あっせんの流れ



まずはご相談ください!

鳥取県福祉人材センター
〒689-0201鳥取市伏野1729-5
TEL (0857) 59-6336 FAX (0857) 59-6341
【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

鳥取県保育士・保健所支援センター
〒689-0201鳥取市伏野1729-5
TEL (0857) 59-6342 FAX (0857) 59-6341
【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人登録・求人票の閲覧ができます。

福祉のお仕事

福祉のお仕事 検索



とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

るりゆるる

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援や災害ボランティアを中心にした情報を収集・発信しています。

バンクには「ボランティア活動をしたい」個人と「ボランティア活動をしたい／ボランティアを募集したい」団体が登録しています。このコーナーでは登録団体についてその活動や想いを紹介します。

[ホームページ] <https://www.torivc.jp>



ベビーピクニックの様子



るりゆるるメンバーの方々

音楽を通して地域のつながりを増やしたい

問し、ミュージック・ケアをしています。ミュージック・ケアは、故加賀谷哲郎氏の考案したメソッドをミュージック・ケア協会理事長の宮本啓子氏が体系化したもので、身体機能の発達維持改善に必要な動きをパターン化した基本動作と、発話や発語等に必要とされる刺激や動きに応じて作曲されたオリジナル曲を使うのが特徴です。

音楽に合わせて職員やるりゆるるのメンバーと一緒に、腕指定の動きを引き出した後、フルーツシェーカー等好きな楽器を選んで合奏を楽しんでいました。最初は表情の硬かった利用者さんも、みんなと音楽に触れ合う中で笑顔が増えていきました。「せーの」と声を出し、次の曲が流れるのを待ちきれない姿もありました。浅見さんは、「参加者にとって、ともに取り



ミュージック・ケアの様子

組んだ一体感や達成感の積み重ねは大事なことで、音楽を使って少しでも感じることができるようになっています。」と普段の活動を振り返ります。

温かい世の中を目指して

るりゆるるの想いに賛同してくださる方、一緒に活動していただける方を募集しています。また、寄付で活動を応援していただける方も募集しています。

浅見さんは、「様々な支援団体ともつながり、お互いの強みを生かした地域の支え合いができたらと思っています。いくつになっても人は成長したい、という願いを持っています。この人はこれくらいしか出来ない」と決めつけるのではなく、音楽の力を借りながら学ぶための心や体の土台を築いていきたい。成長を温かい目線で見守る仲間を増やし、人生を楽しめるお手伝いができれば」と語りました。

るりゆるる

代表／浅見 真子

「問合せ先」

住所 鳥取市吉成1丁目0607-7

電話 090-1-0035-8770

●メールアドレス
relieur.tottori@gmail.com

●ブログ
<https://ameblo.jp/relieur-tottori/>

●インスタグラム
<http://www.instagram.com/relieur.tottori>

●LINEは下記QRコード

から友だち登録をお願いします。



「アーツ芯(コア)」盲ろう文化芸術ネットワーク

見えない人、見えにくい人でも、諦めることなくチャレンジできるように

アーツ芯は「みんなで創る空間を楽しもう」をスローガンに、盲ろう者(見えにくく、聞こえにくい人)を中心として、障がい者やその支援者、一般の人たちを含む様々な人たちが、文化芸術や創造活動に一緒に楽しく安心して取り組みことで、豊かな生活と社会参加をすることを目的とした任意団体です。その活動は鳥取市を拠点として、鳥取市役所市民交流センターをはじめ、さわやか会館、さざんか会館などで行われています。



自分の作品を持って記念集合写真



無心になって作品作りをする参加者たち

盲ろう者が幅広く活動できる場をつくらう

アーツ芯は2021年の設立で、それまで鳥取に盲ろう者の文化・芸術活動の機会がなかったことから、「絵を描いたり舞台で芝居をしたり、幅広く活動できる場をつくらう」と、盲ろう当事者と支援者が何人か集まって「やらう！」ということで団体をつくりました」と代表者の今本由紀さんは話します。



アーツ芯代表者の今本由紀さん

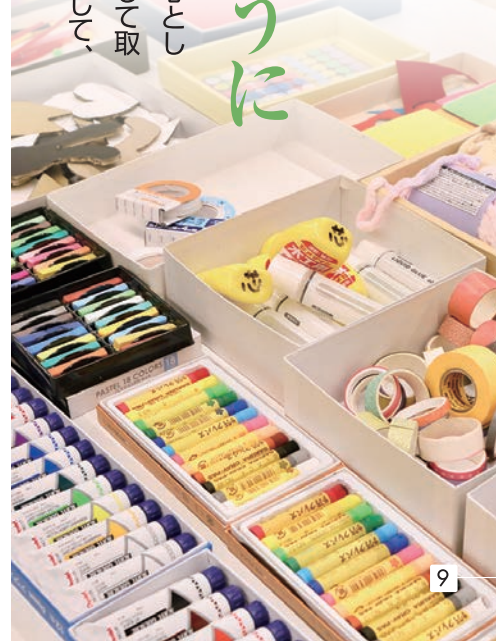
活動内容は、クレヨンアートに始まり、陶芸など講師に依頼しての講演会やワークショップなどを開催してきましたが、現在は「ドットア

ー」をメインにワークショップ活動を行っています。

鳥取市役所2階の市民交流センター多目的室で開催された「ドットアート・ワークショップ」を訪れました。A4サイズのケント紙に点筆と点字器を使って、思い思いに点を打ち込んで線を描き、その線を確認しながら絵の具やクレヨン、そして筆やスポンジなどを使って着色するほか、綿や糸などで装飾するのがアーツ芯オリジナルのドットアートです。

この日はあいにく参加者が少なかったですが、庶務・会計を務める土橋理佳さんから「自分のやりたいこと、行きたいところなど、夢」を考えながら作りましょ」の言葉でワークショップは始まりました。

土橋さんと同様に、鳥取県と鳥取市が実施している「盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会」を受講した「盲ろう者友の会」の伊地知孝子さんと菅澤則夫さんも通訳・介助員と



してドットアートの制作に参加しました。



ワークショップ開始の挨拶をする土橋理佳さん

障がい者への偏見を捨てて支援を

盲ろう者は、絵を描いたり何かを作ったりすることがあまりないことから、そのような機会や場所の情報を得て参加することで、盲ろう者の生活が少しでも豊かになれば良いとの思いから始めた活動は、月に1回のペースで開催されています。

活動当初は、チラシを作って配布していましたが、現在はインスタグラム、フェイスブックなどのSNSで情報発信をしながら参加者募集を

色々な画材やパーツが揃えられています



鳥取県ボラセン
キャラクター
「はーちゃん」



ある人はカラーテープ
に手をなぞらえて点筆
を打ちます



指先の感覚を研ぎ澄ま
して作品を解説します



出来上がった作品の鑑賞をします

ある日の陶芸ワーク
ショップは、倉吉市の
「上神焼(かすわや
き)窯元」の中森伯雅
氏の指導のもとに開
かれました。ろくろを
使ったりや手捻りで
成形します



通訳・介助員の伊地知孝子さん

同じく伊地知さんは、障がい者に
限らず、人を支援するときの配慮と
して「盲ろう者を主体にすることを
大切にして、自分ができることはし
てもらおうようにし、支援者が出しゃ
ばり過ぎないようにしています」と、
話します。



通訳・介助員の菅澤則夫さん

「盲ろう者は、見えなくて聞こえな
いので、支援者が目の代わり、耳の
代わりとなって、絵の描き方や作品
の作り方の情報を伝え、それを盲ろ
う者が自分で考えて描いたり作っ
たりできるように支援しています。」「盲
ろう者が作品を展示会に提供した
り、自分の才能を伸ばしたり、とも
に安心して楽しく活動や社会参加
ができること、そして、盲ろう者への
地域社会の理解が広がることを目
標に支援をしたいと思っています。」「
と代表の今本さんは話します。」

盲ろう者と気持ちがつながる活動へ

「盲ろう者は、見えなくて聞こえな
いので、支援者が目の代わり、耳の
代わりとなって、絵の描き方や作品
の作り方の情報を伝え、それを盲ろ
う者が自分で考えて描いたり作っ
たりできるように支援しています。」「盲
ろう者が作品を展示会に提供した
り、自分の才能を伸ばしたり、とも
に安心して楽しく活動や社会参加
ができること、そして、盲ろう者への
地域社会の理解が広がることを目
標に支援をしたいと思っています。」「
と代表の今本さんは話します。」

「盲ろう者は、見えなくて聞こえな
いので、支援者が目の代わり、耳の
代わりとなって、絵の描き方や作品
の作り方の情報を伝え、それを盲ろ
う者が自分で考えて描いたり作っ
たりできるように支援しています。」「盲
ろう者が作品を展示会に提供した
り、自分の才能を伸ばしたり、とも
に安心して楽しく活動や社会参加
ができること、そして、盲ろう者への
地域社会の理解が広がることを目
標に支援をしたいと思っています。」「
と代表の今本さんは話します。」

「盲ろう者は、見えなくて聞こえな
いので、支援者が目の代わり、耳の
代わりとなって、絵の描き方や作品
の作り方の情報を伝え、それを盲ろ
う者が自分で考えて描いたり作っ
たりできるように支援しています。」「盲
ろう者が作品を展示会に提供した
り、自分の才能を伸ばしたり、とも
に安心して楽しく活動や社会参加
ができること、そして、盲ろう者への
地域社会の理解が広がることを目
標に支援をしたいと思っています。」「
と代表の今本さんは話します。」

盲ろう文化芸術ネットワーク「アーツ芯」事務局

鳥取県鳥取市青谷町早午322

電話 080-1640-0739(土橋)

【ホームページ】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100064259855895>

【E-mail】 newartscore@gmail.com

【Instagram】 https://www.instagram.com/newartscore_jp?igsh=MWs3d3FseGdjMXR1YQ%3D%3D&utm_source=qr

【Facebook】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100064259855895>



「この日の活動の中で感じたことは
「見えにくく聞こえにくい人でも、諦
めることなく描いたり作ったりする
ことにチャレンジできるようにこれ
からも支援していきたい」というア
ーツ芯にかかわるみんなの想いです。」



今本さんに誘われて参加した安治望
由紀さん

ねんりんピックはばたけ鳥取2024開催!

県民挙げての温かいおもてなしで鳥取県へようこそ!!

第36回全国健康福祉祭とっとり大会(ねんりんピックはばたけ鳥取2024)が、10月19日(土)から22日(火)の4日間にわたり開催されました。

今回の大会は47都道府県と20政令指定都市から約1万5千人が参加し、本県からも28種目667人の選手監督が参加しました。

19日(土)の総合開会式は、荒田のため、鳥取市布勢の鳥取県民体育館での開催となりました。鳥取県選手団代表の前田寿光(eスポーツ)、浅田恵子(バウンスポール)両選手による大会宣言「笑みの花咲くとっとり宣言」が高らかに宣言され、来県された選手団を歓迎しました。そして、今回初の正式種目になった本県発祥のバウンスポールやeスポーツなどの競技も加わり、29種目のスポーツ・文化交流大会が20日(日)から県内一円で繰り広げられました。開催地では、見事なプレーに歓声が沸き、互いに讃え合う姿やチームを超えてエールを送るなど、他県選手との交流の輪が広がりました。

鳥取県選手団の皆さんも、日頃の練習の成果を存分に発揮され、個人・団体で多くの優勝を果たす

など優秀な成績を収められました。上位入賞された選手9人と藤井団長で12月23日(月)に鳥取県庁を訪ねて、平井知事に成績報告を行いました。

来年度は岐阜県でねんりんピックが開催されます。さらなる感動とご活躍を期待しています。

★個人種目(優勝)

○マラソン

河崎 靖恵

(70歳未満3km・女)

徳永 和義

(70歳以上10km・男)

○水泳

八波 淳一

(65～69歳背泳ぎ25m及び50m・男)

小山 幸伸

(65～69歳自由形25m及び50m・男)

前田 京子

(70～74歳背泳ぎ25m・女)

南家 道子

(65～69歳平泳ぎ50m・女)

★団体種目(優勝)

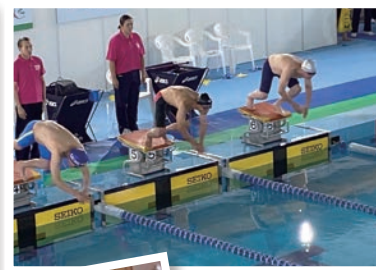
○剣道

鳥取県A

○バウンスポール

男子の部 若葉台

女子の部 スワン



※上記以外の成績はホームページに掲載しています。



鳥取ことぶきネット(検索) または左記表示の二次元コードをお読みください。

困難を乗り越えたから、 心惹かれるものがある



ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵な高齢者を
同世代のことぶきレポーターが取材をします。
「シニア」の「シニア」によるシリーズ。
地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている
人など高齢者の魅力を余すことなく紹介します。



坂本信弘さん

今回取
材先の鳥
取市湖山
町は、交通
の便・医

療・買い物などの利便性が良く、新興住宅地が広がっています。また、鳥取大学をはじめ公立の学校が多くあり、学生の町としての活気も感じさせるエリアです。この町で、湖山地区自治会が進める「健康で安全な福祉のまちづくり」活動を支える一人が、健康づくり推進員協議会の会長を務める坂本信弘さん(70歳)です。坂本会長は、しゃんしゃん体操、健康ウォーク、健康ライフセミナーや湖山地区文化祭の開催など、住民が元



気で生き生きと暮らせるよう健康づくりの活動に日々、精力的に取り組まれています。
幼少期、坂本会長は境港の日本海の荒波と豊かな自然の中で育ち、新鮮な魚を思う存分味わいながら過ごしました。その姿は見るからにスポーツマンそのもので、活力に満ち溢れているのが印象的です。しかし、そんな健康的な印象からは想像もつきませんが、過去に大病を患い、また現役時代には人間関係や仕事の上で精神的にも行き詰まるという苦しい経験もされたそうです。そのような苦しい経験が、人の痛みに共感し、周囲に配慮しながら接する姿勢につながっていると感じます。そして、おおらかで親しみやすい人柄は、一緒に活動する人々にも温かく伝わり、多くの人から慕われています。元

職場のOB会では、「豊かな人生の会」を立ち上げ、オリジナルユニフォームを作製するなど、熱意をもって取り組まれています。今では、年2回のゴルフイベントや研修会の企画・運営にも携わっています。これらの健康や文化活動を通じて、人生の豊かさを参加者と共有し、交流を深めることで活力を与えています。

地域との関わりで

「健康で幸せな人生」を

坂本会長の健康づくり推進活動には、何十年もボランティアとして携わる小島さん、影井さん、木下さんといった頼れる仲間たちがいます。皆で準備段階から協力し合いながら活動を支えていて、その良いチームワークで、健康づくりの「しゃんしゃん体操」は毎回楽しく盛り上がりつつあります。また、公民館祭が大雨となり、急遽近くのお寺(栖岸寺)で開催したことがありました。その時、坂本会長は誰よりも率先して参加者を巻き込みながら、その場の雰囲気を見事に盛り上げていました。そこにいるだけで会場の空気を明るくするムードメーカー的存在になっています。

最近では、地域活動に関わらない方が増えている中で、坂本会長は「妻への気遣いを忘れず自身の体力とも相談しながら、関わりを大切に



向かって左から、小島さん、坂本会長、影井さん、木下さん

地域へ貢献していけたら」と話します。年齢を重ねれば体力が衰えるのは自然なことです。しかし、坂本会長のできる限り地域活動に関わり続けようとする姿勢は、きっと誰もが豊かな人生を送り、充実した日々を過ごせる社会の実現へとつながっていくのではないかと思います。



取材を終えて一言 清水はるみさん(鳥取市)

過去にづらい時期があったとは思えないほど、明るく周りが笑いの雰囲気にも包まれる。取材を通じて、その方の普段の違う一面を垣間見ることができ、人生の貴重な心の糧になり、取材体験から得るものがありました

とっとりボランティアバンクにご登録ください

ボランティア

の力を借りたい
をしてみたい

そんなときは…
とっとり
ボランティア
バンクに

ご登録
ください!



誰かのために
力になりたい

ボランティア
したいけどどこで
募集してるの?

ボランティアと
一緒に地域を
元気にしたい

ボランティアの
力を借りたい

ボランティアバンクでは
こんなお手伝いをします

ボランティアの
活動調整

ボランティアを募集する
方と、活動する方との調
整を行います。

ボランティア活動
に関する情報提供
(メルマガ)

登録された方に、ボラン
ティア募集やボランティ
アに関する講座・研修な
どの情報をメールなど
で提供します。

ボランティア活動
に関する相談受付

ボランティア活動に関
する困りごと、お悩み、助成
金の申請方法など、何で
もご相談ください。

ボランティアバンクに
登録いただくと…



ボランティア
したい人
(団体)

県内外のボランティ
ア募集やボランティ
ア関連講座・研修な
どの情報を受け取る
ことができます。



ボランティアの
力を借りたい
団体

とっとりボランティ
アバンクのHPやメル
マガを通じてボラン
ティア募集やボラン
ティア関連講座・研修
などの情報を発信で
きます。

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.torivc.jp/>



●お問い合わせ・ご相談 福祉振興部(鳥取県ボランティア・市民活動センター)まで TEL0857-59-6344 FAX:0857-59-6341

あなたの「時間」を活かして介護助手として働いてみませんか

福祉に興味のある方

子育て世代

シニア世代

- 介護の資格不要
- 短時間勤務OK
- 見学可能
- 未経験者OK
- 地域社会への貢献

※就労条件は、各施設で異なります。

ライフスタイルや体力に
合わせた働き方ができます

「ありがとう」と
言ってもらえて
社会の役に立っていると
実感できます

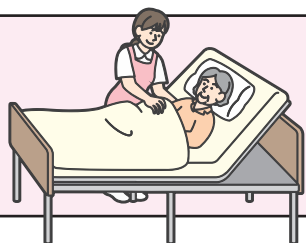
この仕事を始めて
生活に張り合いが
できました

自分に合った
時間で
働いています



★介護助手の仕事の内容

部屋の掃除や食事の配膳・片付け、ベッドメイク、趣味活動の手伝い、話し相手など、
介護士の仕事をサポートしていただくものです。
介護の仕事や医療、福祉分野の仕事に従事されたことのない方でも可能です。



●お問い合わせ先 福祉人材部 TEL0857-59-6336

令和7年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行幸用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

HOTeyeギャラリー

鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア 紹介③



鳥取県と日本財団との共同プロジェクトにより共生社会実現のためのスポーツ拠点施設としてオープンしてから4年が経過し、障がいの有無にかかわらず誰もが利用できることから、施設利用者数は年々増加しています。全館バリアフリー仕様となっており、障がいのある方から好評を得ています。メインとなるスポーツ広場は、バスケットボールコート半面の広さがあります。県内の体育施設には珍しく、正規のポッチャコート常設しています。安全面・保守管理面に配慮し、床は特殊な材料で施工されています。障がいのある人、ない人が共にスポーツに取り組める環境を整備しています。

【モルックの起源とルール】

モルックは、フィンランドのカレリア地方発祥の伝統的な「キイック」というゲームを元に、1996年にスポーツメーカーによって開発されました。老若男女・障がいのある方も同じフィールドで楽しむことができるスポーツでルールはとて簡単です。ゲームは、個人戦・チーム対抗戦で行い、3～4メートル離れた定位置からモルック(投げる棒)をスキttl(的になる数字の書かれた木製のピン)目掛けて投げます(下手投げが基本)。スキttlが1本倒れた時は、ス

キttlに書かれた数字が得点となり、スキttlが複数本倒れた時は、倒れたスキttlの本数が得点となります。先に50ピttlりに得点した方が勝ちとなります。50点を超過してしまった場合には25点まで得点を戻します。倒れたスキttlは、その場に立て直します。モルックを投げるたびにだんだんとスキttlが広範囲に散らばり、命中させにくくなります。

みなさんも一度、モルックを楽しんでみてはいかがでしょうか。



社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)
URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail soumu@tottori-wel.or.jp



鳥取県
社会福祉協議会
ホームページ

福祉人材の
確保・育成・定着
を支援します

鳥取県福祉人材センター
TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
e-mail jinzai@tottori-wel.or.jp



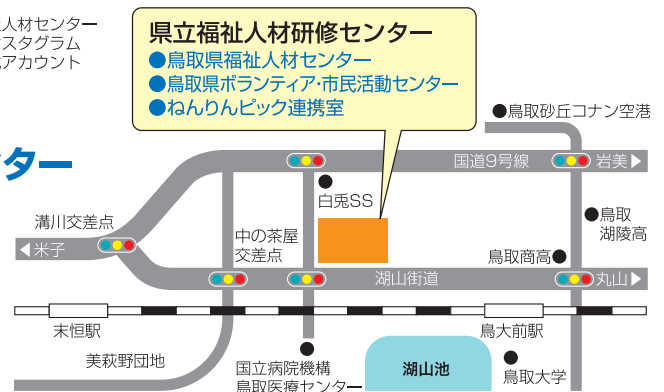
福祉人材センター
インスタグラム
公式アカウント

ボランティア活動の
幅を広げる
活動を応援します

鳥取県ボランティア・市民活動センター
TEL.0857-59-6344 FAX.0857-59-6341
e-mail vc@tottori-wel.or.jp

元気な高齢者の
生きがい・社会貢献
を支援します

明るい長寿社会づくり推進事業担当
TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340
e-mail kototori@tottori-wel.or.jp



本誌について、また、福祉に関することについて
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。



「ホットアイ118号」
アンケート回答フォーム